

## 令和4年度 環境計量士等研修会アンケート結果 案

### 1. 研修内容

日 時：令和4年11月25日（金） 9時50分から17時05分まで

開催場所：日本特殊陶業市民会館 第1会議室（3階）

受講者：29名

（参考：R3 37名、R2 21名、R1 37名、H30 40名、H29 38名、H28 40名）\*R2、R3はオンライン開催プログラム

時 間	演 題	講 師（敬称略）
9:30～9:50	受 付	
9:50～10:00	開講挨拶 一般社団法人愛知県環境測定分析協会 会長 一般社団法人日本環境測定分析協会中部支部 支部長	大野 哲
	来賓挨拶 愛知県環境局環境政策部環境活動推進課 担当課長	渡邊 省吾
10:00～10:50	最近の大気環境行政の動向 について	愛知県環境局環境政策部水大気環境課 担当課長 棚橋 勝樹
10:50～11:00	休 憩（10分）	
11:00～11:50	化管法（特定化学物質の環境 への排出量の把握等及び管 理の改善の促進に関する法 律）に基づく愛知県の取り組 みについて	愛知県環境局環境政策部環境活動推進課 主査 松山 純也
11:50～13:00	昼 食 休 憩（70分）	
13:00～14:30	海洋マイクロプラスチック の流出抑制にむけて：現状理 解と今後の課題	国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環領域 資源循環基盤技術研究室 主幹研究員 鈴木 剛
14:30～14:45	休 憩（15分）	
14:45～15:45	新たな化学物質管理がはじ まります--すべての有害化 学物質が対象に--	株式会社大同分析リサーチ 環境測定センター 環境専門部長 新谷 良英
15:45～16:00	休 憩（15分）	
16:00～16:45	測定における校正用ガスの 技術的・法的な安全性など についてとヘリウムの現状	日本エア・リキード合同会社 本社 スペシャリティガス事業部 水澤 芽衣
16:40～17:00	製品紹介：校正用ガスのご紹 介	
17:00～17:05	閉 会	

## 2. アンケート調査

別紙1にアンケート調査票を示す。参加者29名全員から回答があった（回収率100%）。

## 3. アンケート調査結果

### 3.1 質問1「今回の研修会全般について、ご意見・ご感想」

好評意見が60%であった。改善要望・提案ではリモート開催を希望する意見が半数を占めていた。

区分	回答数	比率
好評意見	15	60%
改善要望・提案	4	40%
クレーム（苦情）	0	0%

（注）比率は、回答数19との割合

回答に記された全てのコメントを次に示す（内容の重複する回答あり）。

#### （ア）好評意見（好意的な意見）

評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・近年の環境問題から実務に関する幅広い内容でよかったと思う。</li><li>・最近の動向がわかり良かったです。</li><li>・普段、大気関係の仕事をしていないが、新たなトピックが知れてよかったと思う。</li><li>・内容が多岐にわたり充実した研修会だった。</li><li>・いろいろな分野のお話があり、大変勉強になりました。</li><li>・普段聞けないような講習をたくさん伺えて有意義でした。</li><li>・環境分析業務の経験・知識が少ないため、全てにおいて新しい内容であった。</li><li>・新しい知識が身につき、役に立った。</li><li>・有意義なものになりました。開催ありがとうございます。</li><li>・有意義な研修でした。</li><li>・貴重なお話ばかりで勉強になりました。</li><li>・業務に関連する話を聞いて勉強になった。</li><li>・業務外の知識について抜けてしまっていることがあるが、研修を受講して基礎を再確認でき、ありがたいと感じた。</li><li>・このコロナ下でのご準備、ご苦労様です。</li><li>・やはり対面はいいと思った。</li></ul>
----	---

#### （イ）改善要望・提案

改善 要望 ・ 提案	<ul style="list-style-type: none"><li>・「計量士」の為の講義内容とは一致しない内容だと思う。オンライン研修で十分な議題及び内容だった。</li><li>・リモートでも実施していただきたかった。</li><li>・まだコロナがあるので、リモートがよかった。</li><li>・いずれの演題も駆け足気味だと感じた。</li></ul>
---------------------	--

#### （ウ）クレーム（批判的な意見、苦情）

クレームは見当たらなかった

### 3.2 質問2 「特に興味があったもの、役に立つと思ったもの」

3題が20%\*以上、2題が15%と、全ての演題が参加者の興味を引き、有用であったと判断される。

※従来のアンケートによればおおよそ1/4の回答数があれば評価が良く、おおよそ半数以上であれば評価が高いと経験的に言える

演題	回答数	比率
①最近の大気環境行政の動向について	18	62%
②化管法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）に基づく愛知県の取り組みについて	13	45%
③海洋マイクロプラスチックの流出抑制にむけて現状理解と今後の課題	18	62%
④新たな化学物質管理が始まります --すべての有害化学物質が対象に--	19	66%
⑤測定における校正用ガスの技術的・法的な安全性についてとヘリウム現状	13	45%
⑥製品紹介 校正用ガスのご紹介 (日本エア・リキード合同会社)	4	14%
未回答	1	3%

(注) 複数回答あり、比率は総受講者数に対する割合

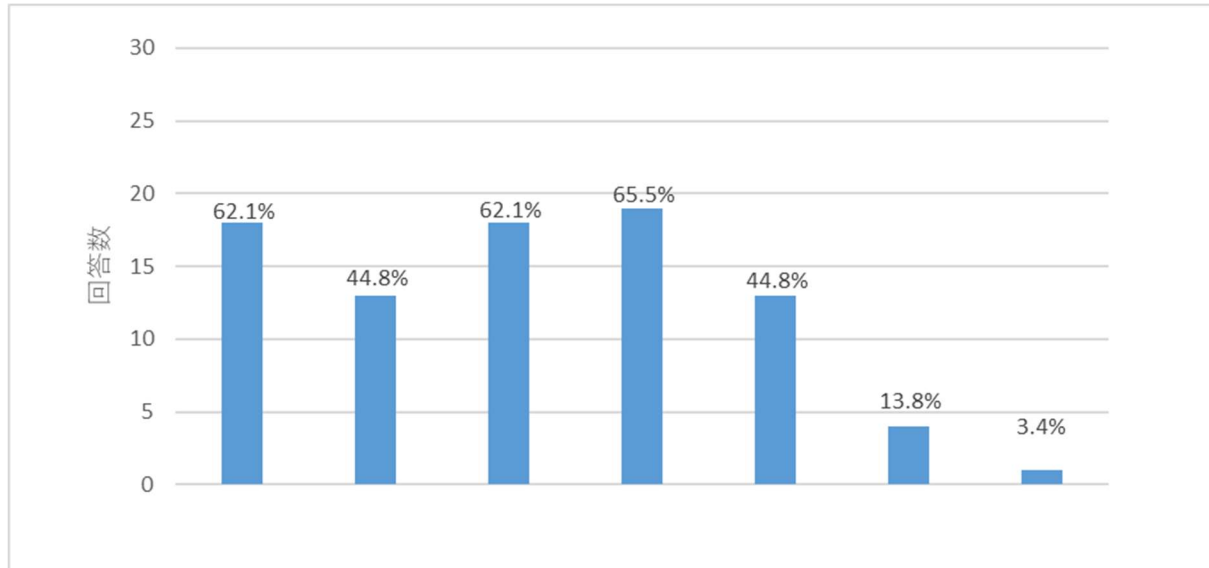


図 3.2. 特に興味があったもの、役に立つと思ったもの

回答に記された全てのコメントを次に示す（内容の重複する回答あり）。

#### (演題①)「最近の大気環境行政の動向について」

所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計量事業の根幹にかかわる法規制の話題であった。</li> <li>・環境基準について勉強がまだ浅いため、大気について知ることが出来た。</li> </ul>
----	--

(演題②)「化管法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）に基づく愛知県の取り組みについて」

所感	・変わる法律についてなぜ変わるかの解説はとてもありがたい。(エ)に対しても)
----	--

(演題③)「海洋マイクロプラスチックの流出抑制にむけて：現状理解と今後の課題」

所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活として身近なものだったから。</li> <li>・自分の会社においても対応が必要な内容だったため。</li> <li>・マイクロプラスチックの件はもともと興味があった。内容がわかりやすく理解が深まった。</li> <li>・興味のある内容だった。/知らない事ばかりで興味深かった。</li> <li>・マイクロプラスチックに興味をわいた。</li> <li>・マイクロプラスチックについてよくわからなかったが多かったが、今回の研修でより理解が深まった。</li> </ul>
----	---

(演題④)「新たな化学物質管理がはじまります--すべての有害化学物質が対象に--」

所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクアセス、自律管理はその対応が求められるので、概要が知れてよかった。</li> <li>・業務に関連するため。</li> <li>・実際に顧客から依頼がき出している話だったので、興味があった。</li> <li>・今後の作業環境測定について詳しい話が聞けて勉強になった。</li> <li>・変更の背景がよく分かったことと、今後のアクションの準備への心構えができたため。</li> </ul>
----	--

(演題⑤)「測定における校正用ガスの技術的・法的な安全性についてとヘリウムの現状」

所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題の意味が不明。</li> <li>・Heの現状と展望について聞いたのは良かったが、厳しいことが分かった。</li> </ul>
----	---

(演題⑥)「製品紹介 校正用ガスのご紹介（日本エア・リキード合同会社）」

所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業 PR の必要なし。</li> <li>・ガスボンベの安全性について確認したいと思った。</li> </ul>
----	---

### 3.3 質問3 「来年度のテーマについての要望」

受講者の希望するテーマは法改正/規格改正に関するテーマが最も多く。中でも JIS K0102 に関する情報は名指しで希望が上がっていた。計量証明業務、分析技術も日常業務に直結する話題として希望が多かった。

希望するテーマ	回答数	比率
法改正/規格改正	5	26%
行政の情報	2	11%
計量証明の業務	3	16%
分析技術（前処理/機器分析）	3	16%
騒音、振動、低周波音	1	5%
その他	5	26%

(注) 総回答数 15。重複するテーマは個別にカウント

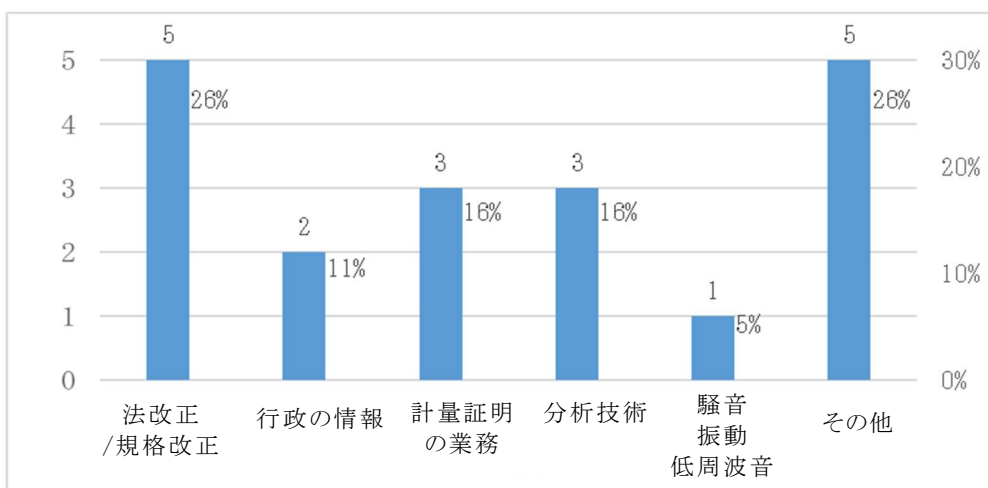


図 3.3. 来年度のテーマについての要望

回答に記された全てのコメントを次に示す（内容の重複する回答あり）。

#### 希望するテーマの意見

法改正／規格改正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな規制・測定技術の紹介</li> <li>・法令の変更をわかりやすく解説してもらえるテーマが希望</li> <li>・JIS K0102 について、JIS 改正、法令改正などのトピック</li> <li>・その時々での改正や新しい分析についてや問題になっていること。</li> <li>・人材育成について、労働安全衛生について、計量管理について</li> </ul>
行政の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の動向、低周波音等について取り上げていただければありがたいです。</li> <li>・河川調査に関する県の動向について等</li> </ul>
計量証明の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気・水質の計量に係る内容を希望します。</li> <li>・環境計量士の職務全般について</li> <li>・人材育成について、労働安全衛生について、計量管理について</li> </ul>
分析技術（前処理/機器分析）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分析法についての解説</li> <li>・その時々での改正や新しい分析についてや問題になっていること。</li> <li>・He 代替ガス（H<sub>2</sub>、N<sub>2</sub>）での GC、GC-MS 分析の実際について</li> </ul>
騒音、振動低周波音	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の動向、低周波音等について取り上げていただければありがたいです。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクアセスメント（少し触れたが、しっかり聞きたい。）</li> <li>・ラボの DX 化について</li> <li>・人材育成について、労働安全衛生について、計量管理について</li> <li>・保護具</li> <li>・カーボンニュートラル</li> </ul>

#### 3.4 質問 4 「開催時期について要望」

例年同様、希望開催時期「特になし」などが多かったが、「11 月」で良いという意見が多かったため次回も 11 月開催で考える。

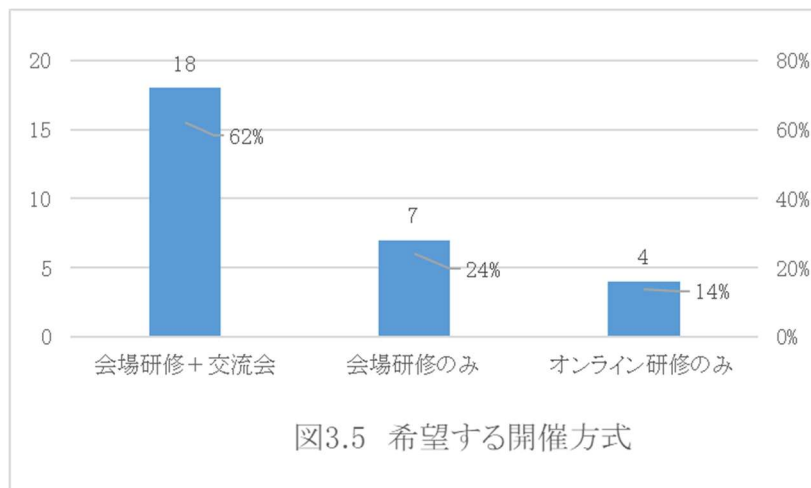
希望する開催日時	回答数	比率
従来通り 11 月	24	83%
4～6 月	1	3%
7～9 月	0	0%
10～12 月	1	3%
1～3 月	0	0%

\* 未回答数 3 を除く

### 3.5 質問5 「来年度以降本研修会の開催方式について」

受講者からは会場開催+交流会を希望する比率が62%あったが、会場開催参加者からの意見のため、次回からの開催方法については引き続きコロナ禍等の状況を慎重に判断する必要があると考える。

開催方式	回答数	比率
会場研修+交流会	18	62%
会場研修のみ	7	24%
オンライン研修のみ	4	14%



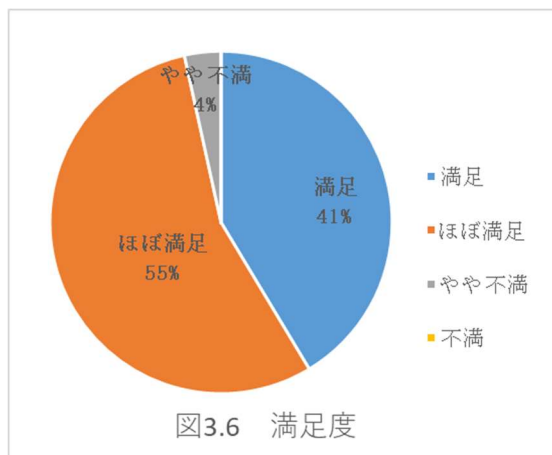
回答に記された全てのコメントを次に示す（内容の重複する回答あり）。

会場研修+交流会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会は必要であると思いますが、交流会を含め 17:00 終了のプログラムで実施していただけると参加ができます。</li> <li>・交流会の参加・不参加が選択できるため。</li> <li>・現状でよいと考える。</li> <li>・参加者のコミュニケーションが重要だと思うため。</li> <li>・同業他社の方とお会いできる貴重な機会だから。</li> </ul>
会場研修のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会が時間の都合上、参加が難しいため。</li> <li>・交流会があるとよい。</li> <li>・短い時間で済むため。</li> <li>・コロナ次第ですが、マスクを着用しなくてはいけないなら会場研修のみも仕方ありません。</li> </ul>
オンライン研修のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場設営費を節約し、オンラインで参加費無料での開催を希望</li> <li>・内容からして会場で行う必要性は低いと思う。会場+オンラインで行い、交流会は会場での参加者が行えばよいと思う。</li> <li>・オンラインでも特に問題ないと思われるため。名古屋までが遠いので。</li> </ul>

### 3.6 質問6 「今回の研修会に満足したか？」

満足とほぼ満足の割合が96%であり、受講者に好評であった。一方、マイクの雑音や講師へのみの水の提供等、会場運営に対する意見もよせられた。

満足度	回答数	比率
満足	12	41%
ほぼ満足	16	55%
やや不満	1	3%
不満	0	0%



回答に記された全てのコメントを次に示す（内容の重複する回答あり）。

満足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の業務と関連ない内容を知ることができて、とても勉強になった。</li> <li>・ 有意な内容が多かったと思います。</li> <li>・ 勉強になる講演が多かったため。</li> <li>・ わかりやすい講習内容でした。</li> </ul>
ほぼ満足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報収集したり勉強する機会のきっかけを与えてもらいました。</li> <li>・ テーマは全て興味を持てた。</li> <li>・ 幅広い内容だったので良かったと思う。</li> <li>・ マイクの雑音が気になった</li> <li>・ 興味のある講演がひとつあった。</li> <li>・ 題目自体は良かったので次回は題目を減らす等してゆったりと受講したい。</li> <li>・ 未経験者にも理解できる内容が多かったから。</li> <li>・ 時間延長のない工夫をお願いしたいです。</li> <li>・ 研修に集中できた。コミュニケーションがとりやすい。</li> </ul>
やや不満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計量士等でなければならぬ理由が見つからない、講師、来賓のみへの飲料水の提供は不公平</li> </ul>

### 4. まとめ

コロナ禍の小康状態の中、3年振りの現地開催及び交流会であった。受講者は29名とコロナ前の令和元年に比べ8割程であり、アンケートでもオンライン開催を希望する意見も散見されたことから、まだまだコロナ禍の影響が続いていることが伺えた。しかし研修会内容全般について尋ねた質問1では、クレームなど批判的な意見もなく、評価する回答（好評意見）が60%と多かったこと、質問6・満足度では満足とほぼ満足の回答が96%あり、研修会は好評であったと考えられる。

以上

## 令和4年度 環境計量士等研修会 アンケート

開催日：令和4年11月25日

質問事項		回答 (該当する番号に○印をつけてください。また理由を具体的にご記述ください。)	
問1	今回の研修全般について、ご意見・感想をお書きください。 (自由記述)		
問2	今回の研修会で特に興味があったもの、役に立つと思ったものをお選びください。 (複数回答可)	<input type="checkbox"/>	①最近の大気環境行政の動向について
		<input type="checkbox"/>	②化管法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)に基づく愛知県の取り組みについて
		<input type="checkbox"/>	③海洋マイクロプラスチックの流出抑制にむけて :現状理解と今後の課題
		<input type="checkbox"/>	④新たな化学物質管理がはじまります --すべての有害化学物質が対象に--
		<input type="checkbox"/>	⑤測定における校正用ガスの技術的・法的な安全性についてとヘリウムの現状
		<input type="checkbox"/>	⑥製品紹介 校正用ガスのご紹介(日本エア・リキード合同会社)
		【理由】	
問3	来年度も本研修会を開催する予定ですが、テーマについてご要望はありますか。		
問4	開催時期についてご要望はありますか。選択肢から選んでください。	<input type="checkbox"/>	① 従来通り11月頃
		<input type="checkbox"/>	② 4～6月
		<input type="checkbox"/>	③ 7～9月
		<input type="checkbox"/>	④ 10～12月
		<input type="checkbox"/>	⑤ 1～3月
		【その他】*具体的にご記入ください	
問5	来年度以降本研修会の開催方式についてお聞きします。	<input type="checkbox"/>	① 会場研修+交流会
		<input type="checkbox"/>	② 会場研修のみ
		<input type="checkbox"/>	③ オンライン研修のみ
		【理由】	
問6	今回の研修会にご満足いただけましたか。回答を選択してください。	<input type="checkbox"/>	① 満足
		<input type="checkbox"/>	② ほぼ満足
		<input type="checkbox"/>	③ やや不満
		<input type="checkbox"/>	④ 不満
		【理由】	